

研究実施に関する情報公開

この研究は琉球大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を得て実施します。この研究では、患者さんのカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者さんには臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者さんは研究実施されることに拒否することができます。その場合は産科婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。研究に参加することに拒否された場合でも、不利益が生じることはありません。

研究課題名： 広汎子宮全摘出術を施行した子宮頸部腺癌患者のリンパ管侵襲と静脈侵襲の評価による再発形式と予後の関連に関する後方視的観察研究
研究期間： 人を対象とする医学系研究倫理審査委員会承認後～平成32年12月31日
対象材料： 診療記録（カルテ）情報
目的： 広汎子宮全摘出術により治療した子宮頸部腺癌患者における脈管侵襲の評価を、婦人科癌領域では確立されていないリンパ管侵襲と静脈侵襲に区別して行うことで、再発形式と予後との関連を検討し、手術後の補助療法の選択や再発の早期発見のためのフォローアップ方法など、予後の改善を目的とした診療方針の構築に役立てる。
研究対象： 2005年1月から2015年11月の期間に、当科で、子宮頸部腺癌に対して広汎子宮全摘出術を施行した患者さんを対象にしています。
研究に用いる情報の種類： 診療録（カルテ）から、年齢、病期、組織型、病理検査によるリンパ管・静脈侵襲の有無、術後補助療法の有無、再発の有無、予後等、を調べます。
方法： 研究対象となる患者さんの診療記録（カルテ）より、上記の情報を収集します。 この調査研究ではお名前、住所、電話番号、カルテ番号等の個人を特定できるような情報は伏せられたまま情報を集計しますので、あなたのプライバシーは厳重に守られます。
問い合わせ： 琉球大学医学部附属病院 産科婦人科医局 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426 【研究責任者】 琉球大学大学院医学研究科 女性・生殖医学講座 教授 青木 陽一